

令和2年12月22日

只見町議会議長 大塚 純一郎 様

総務厚生常任委員会
委員長 山岸 国夫

総務厚生常任委員会所管事務調査報告書

本委員会の所管事務調査事項について、調査経過並びに結果を下記のとおり報告します。

記

1. 所管事務調査事項

- (1) 朝日診療所の運営に関する調査
- (2) 事務の適正管理と職員の健康管理に関する調査
- (3) 人口減少対策に関する調査
- (4) 新たな自主財源確保に関する調査

2. 調査の経過及び結果

- (1) 調査事項 所管事務に関する調査
- (2) 調査方法 現地調査、事務調査
- (3) 調査日 10月5日、11月19日、11月27日
- (4) 出席委員 山岸国夫委員長、酒井右一副委員長、三瓶良一委員、齋藤邦夫委員、中野大徳委員、大塚純一郎委員

3. 調査結果及び意見

朝日診療所の新型コロナウイルス感染症対策への対応について、発熱外来の診察における院内感染防止するため、検査場所を11月から医師住宅を活用し実施することに関する現地調査・事務調査を行った。また、コロナ対応予算の執行状況、軽水力発電機の処分について、経過と効果についての調査、保育料無料化に伴う保育所運営など調査した。

懸案としてきた朝日診療所基本計画は、早急な成果が望まれるところであるが、新型コロナウイルス感染症の対策とその動向を踏まえ、より丁寧な「計画作成」を望むものである。しかしながら、診療所は依然として救急対応の不備などが続き、住民の不安を払拭できないでいる。これは一刻の猶予もできない現状である。また、年度末を控え、医療スタッフ確保において重要な時期である。当局は議会の意思を体し診療所医療の正常化に向け更なる努力を重ねられる様、強く望むものである。

以上